

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 07 日作成)

小委員会名	木造住宅等耐震設計法小委員会	主 査 名：五十田博 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：五十田博
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>木造住宅を対象とした耐震設計法の体系、枠組みを整理するとともに、木質ラーメンや制振壁なども含む設計法を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016 年度：現設計法についてレビューし、問題点を整理する。木質ラーメン、制振壁の設計法について議論を踏まえる。 ・2017 年度：木造住宅等の問題点についての解決法の前案を示す。木質ラーメン構造、制振構造の設計法について議論する。 ・2018 年度：木造住宅等の具体の設計法体系の構築を目指す。 ・2019 年度：成果を取りまとめる。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：五十田博 (京都大学) 幹事：荒木康弘 (建築研究所) 委員：腰原幹雄 (東京大学)、河合直人 (工学院大学)、坂田弘安 (東京工業大学)、村上雅英 (近畿大学)、梶川久光 (明治大学)、松田和浩 (東京工業大学)、山崎義弘 (東京工業大学)、田中圭 (大分大学)、瀧野敦夫 (奈良女子大学)、石山央樹 (中部大学)、若島喜朗 (富山県農林水産総合技術センター)、槌本敬大 (建築研究所)、山田耕司 (豊田高専)	
設置 WG (WG 名：目的)	木質ラーメン構造設計法 WG：木質ラーメンについて集中的に議論する 小規模木質制振構造 WG：木質系住宅の制振壁、構造について集中的に議論する	
2017 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 木造住宅の性能設計法における限界変形について議論し、素案をまとめた。高耐震化を図った場合の問題点について整理を開始した。 2. 小規模木質制振構造 WG を 5 回、木質ラーメン構造設計法 WG を 6 回開催し、効率的に議論を進めた。
委員会活動の問題点 ・課題	なし